

はじめに

少子・高齢化の進行、高度情報化社会の進展、産業構造の変化、生活圏域の広域化の進行、住民の価値観の多様化など市町村を取り巻く社会・経済情勢が大きく変貌する中で、地方分権がいよいよ本格的な実行の段階に入り、市町村にはこれまで以上に重い責任と大きな期待がかけられる時代に突入した。

山陰地方の中心に位置する鳥取県西部地域は、米子市と境港市を中心に、これまで環日本海交流の拠点となる地域の形成を目指し、各市町村の連携のもとに地域づくりを進めてきているが、国・地方を通じたかつてないほどの厳しい財政状況と国の構造改革の実施が叫ばれる中で、将来の行政運営は決して楽観視できない状況に突入している。とりわけ、小規模町村の多い本地域においては、今後の地方交付税制度の在り方によって、その財政運営に相当の影響が生じることが予測されるところである。

こうした状況の中で、本地域が時代の要請に的確に応え、これまで取り組んできた地域づくりを将来にわたって継続させていくためには、今後の行財政基盤はどうあるべきかについて十分に検証してみる必要がある。

このため、本勉強会では、鳥取県西部地域の全市町村が合併するとした場合に誕生することとなる新しい市の人口や財政状況などの推計や合併のもたらす効果等について整理し、その研究成果をこの報告書として取りまとめた。

平成 13 年 12 月

鳥取県西部地域振興協議会合併問題等勉強会

第1章 人口推計

人口は、地域の将来の姿を示す指標の一つであるばかりでなく、あらゆる分野の計画の基礎となるものである。

鳥取県西部14市町村別の将来人口と鳥取県西部14市町村が合併してできる新しい市（以下「新市」という。）の将来人口を次のとおり推計した。

第1節 人口推計の考え方

コーホート要因法により、年齢階層別（5歳刻み）に人口推計を行うこととした。

まず平成17については、平成12年国勢調査の確定値を基に、5歳以上の階層については、平成7年の都道府県別生命表の鳥取県の値を用いて、また、5歳未満の階層については、15歳～49歳（人口再生産年齢）の女性と5歳未満の人口比率における平成7年及び平成12年国勢調査の平均値を用いて計算した。

平成17年以降もこれを繰り返すことにより、5年ごとに平成42年までの人口推計を行った。

なお、新市の人口は、各市町村ごとに推計したものを合算した数値とする。

（参考）コーホート要因法

コーホートとは、同年（又は同期間）に出生した集団のことをいい、コーホート要因法とは、その集団ごとの変化を用いて人口推計を行う方法である。

例えば、ある地域の現在20～24歳の住民は、5年後には25～29歳に達するが、その間の死亡や転入・転出による移動によって人口に変化が生じる。

このように年齢階層ごとの変化が、今後の5年間も継続すると仮定すれば、現在の人口を基にある階層における移動の数と人口の割合を用いて5年後の人口を推計することが可能となるという考え方である。

第2節 市町村別の将来人口

全体的な人口減少と少子・高齢化が進行していく傾向の中にあって、米子市と会見町については、平成27年をピークに総人口が減少に転じ、岸本町と日吉津村については、微増ではあるが増加傾向で推移している。

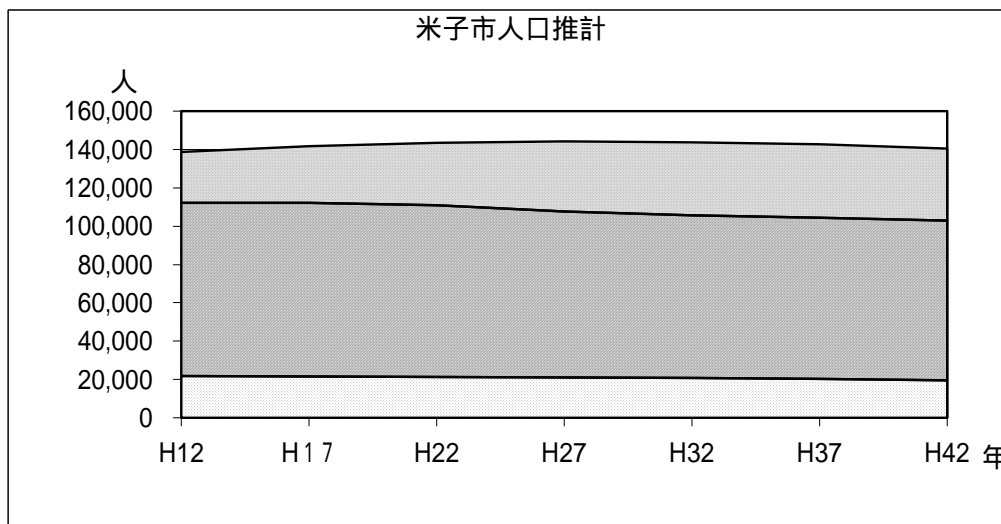
また、他の市町では人口の減少傾向が大きく見られ、特に日野郡の町においては、平成12年と比べて平成42年には総人口が半減する町がある推計結果となった。

市町村別の人口推計は、次に示すとおりである。

米子市

(単位：人)

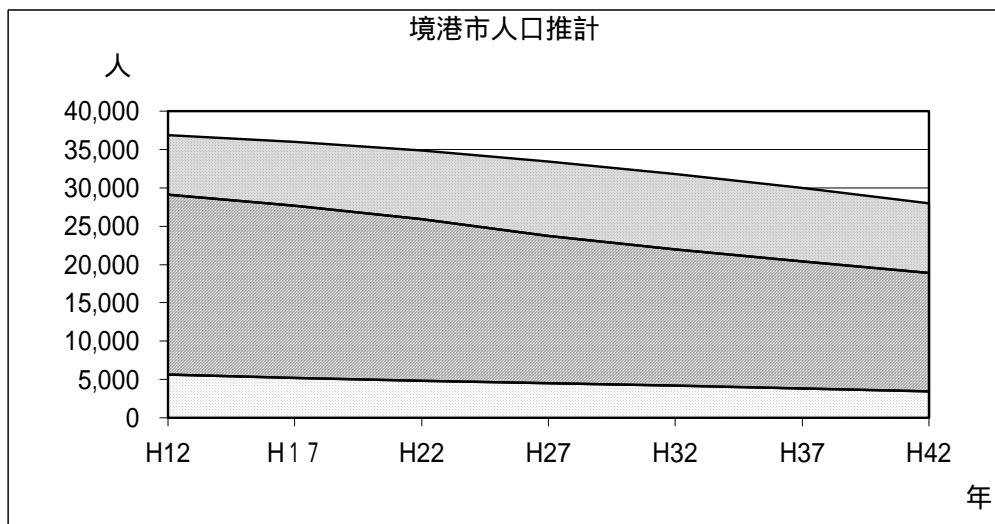
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	138,756	141,673	143,495	144,137	143,833	142,604	140,477
0-14 歳	21,763	21,456	21,264	20,967	20,798	20,268	19,456
15-64 歳	90,524	90,694	89,652	86,623	84,754	84,027	83,427
							37,594



境港市

(単位：人)

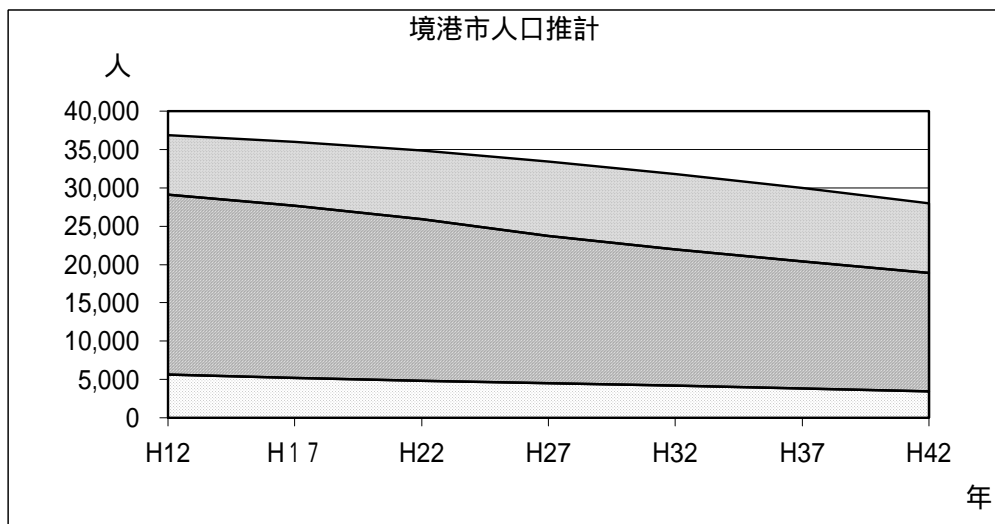
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	36,843	36,019	34,886	33,457	31,791	29,971	28,009
0-14 歳	5,648	5,210	4,845	4,511	4,196	3,825	3,444
15-64 歳	23,472	22,443	21,089	19,207	17,745	16,593	15,457
							9,107



境港市

(単位：人)

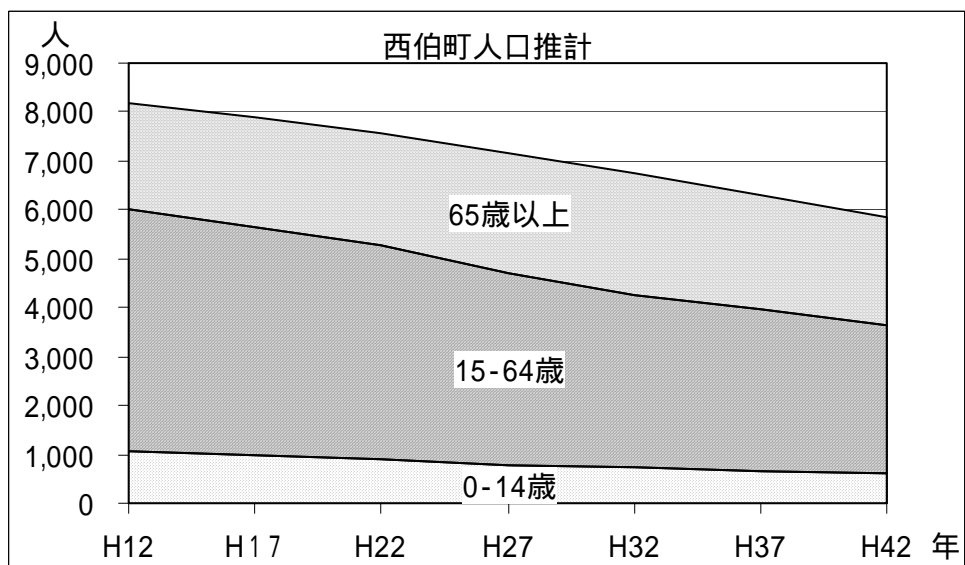
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	36,843	36,019	34,886	33,457	31,791	29,971	28,009
0-14 歳	5,648	5,210	4,845	4,511	4,196	3,825	3,444
15-64 歳	23,472	22,443	21,089	19,207	17,745	16,593	15,457
							9,107



西伯町

(単位：人)

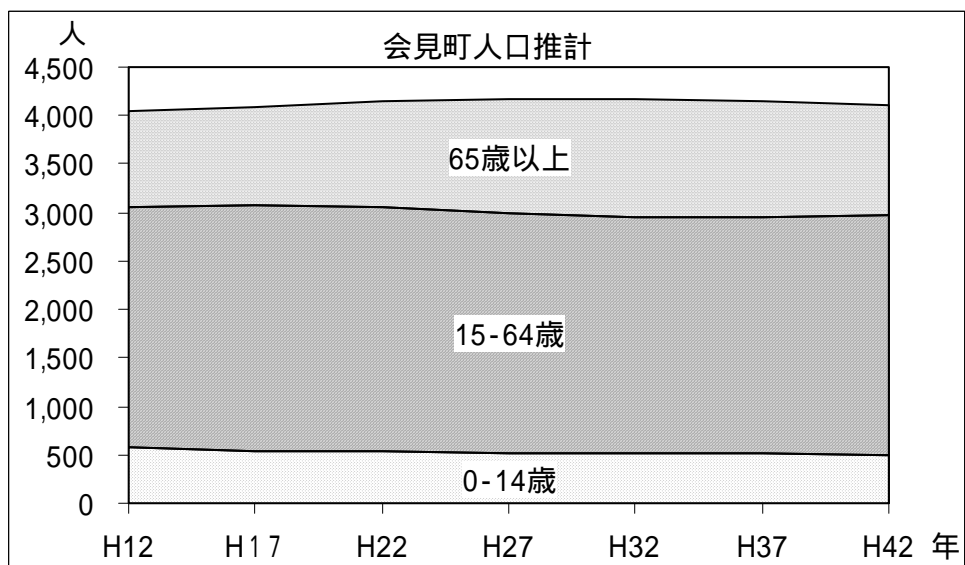
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	8,168	7,889	7,570	7,178	6,754	6,318	5,862
0-14 歳	1,070	967	887	793	735	670	603
15-64 歳	4,937	4,662	4,384	3,925	3,539	3,290	3,027
							2,233



会見町

(単位：人)

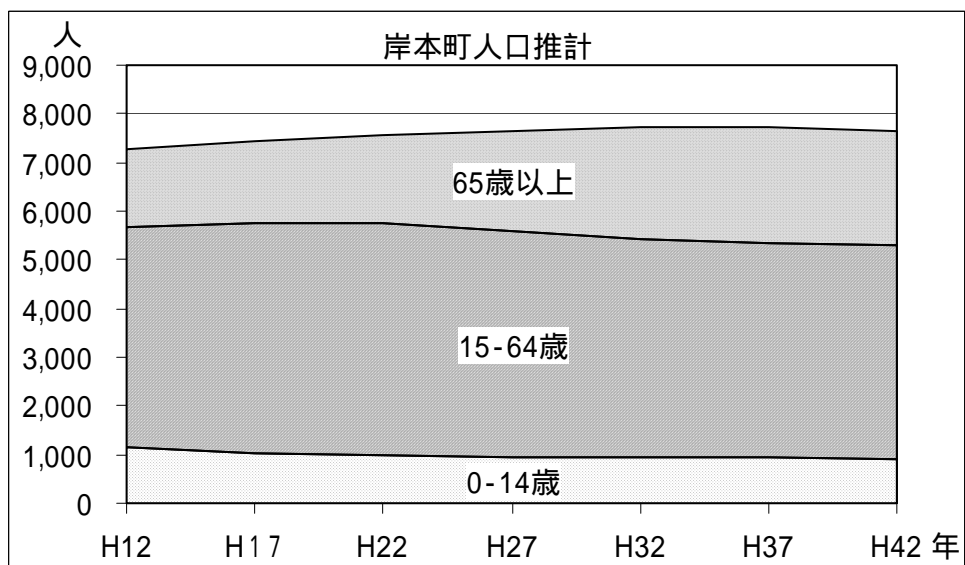
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	4,042	4,097	4,140	4,169	4,163	4,148	4,101
0-14 歳	569	526	545	518	523	524	503
15-64 歳	2,484	2,543	2,501	2,484	2,434	2,428	2,477
							1,121



岸本町

(単位：人)

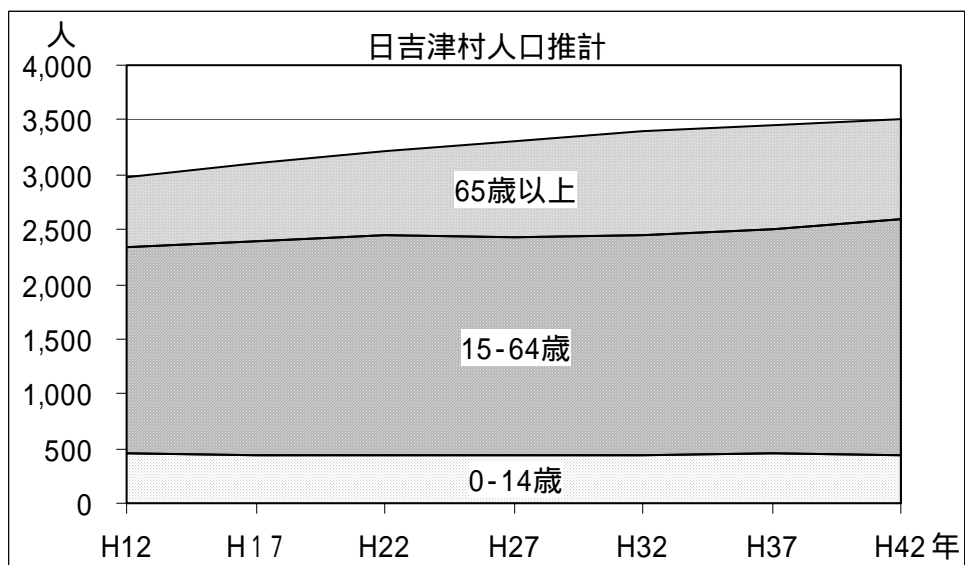
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	7,271	7,420	7,542	7,646	7,708	7,715	7,640
0-14 歳	1,138	1,020	977	964	948	933	896
15-64 歳	4,530	4,750	4,796	4,621	4,473	4,394	4,388
							2,356



日吉津村

(単位：人)

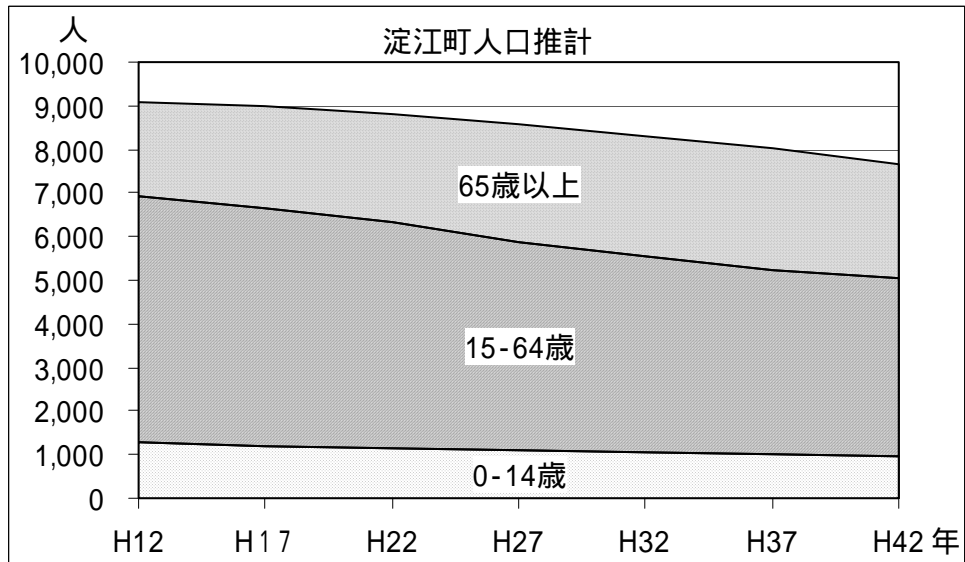
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	2,971	3,102	3,213	3,308	3,395	3,457	3,513
0-14 歳	450	432	444	433	446	448	447
15-64 歳	1,889	1,969	2,012	1,988	2,011	2,049	2,140
							926



淀江町

(単位：人)

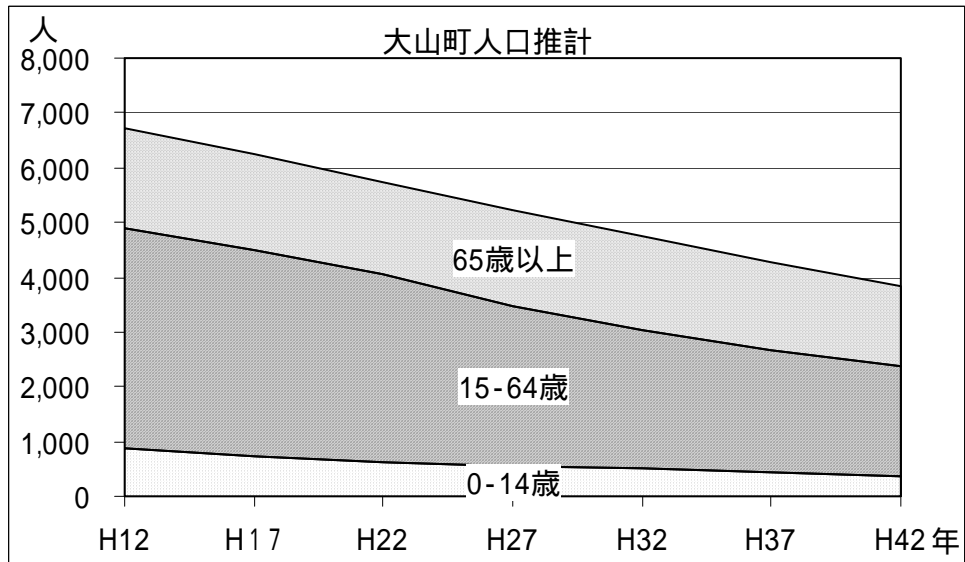
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	9,081	8,994	8,830	8,597	8,315	8,007	7,655
0-14 歳	1,280	1,198	1,147	1,099	1,063	1,023	972
15-64 歳	5,640	5,464	5,177	4,752	4,472	4,223	4,059
							2,624



大山町

(単位：人)

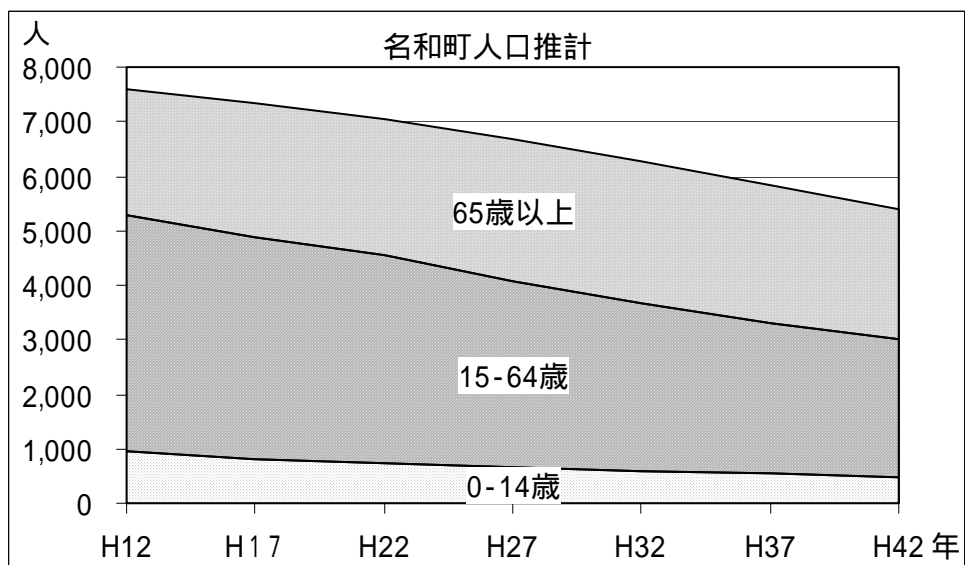
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	6,730	6,241	5,731	5,227	4,742	4,277	3,821
0-14 歳	885	721	627	561	496	437	380
15-64 歳	4,022	3,760	3,424	2,907	2,530	2,218	1,998
							1,443



名和町

(単位：人)

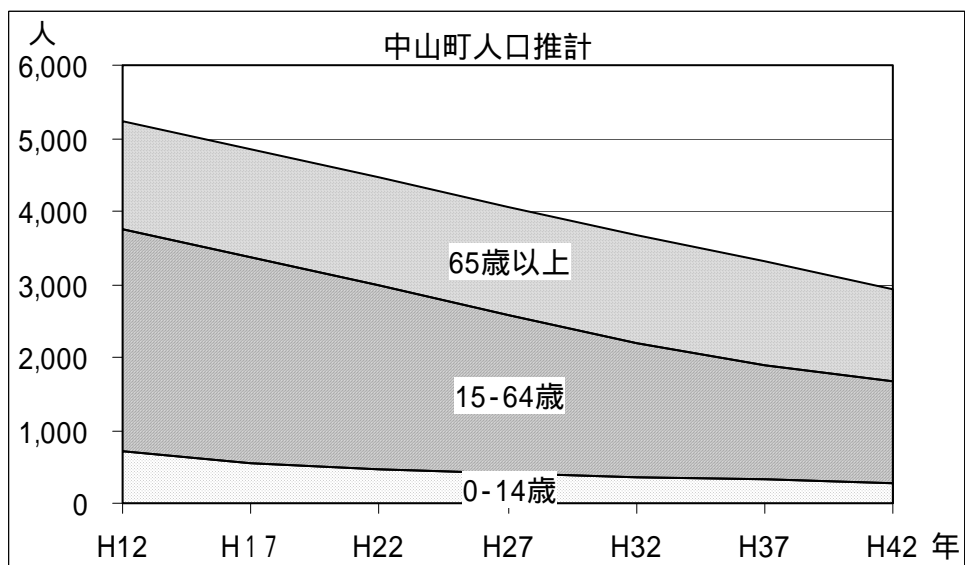
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	7,598	7,353	7,036	6,673	6,266	5,845	5,412
0-14 歳	958	809	728	652	591	536	477
15-64 歳	4,323	4,090	3,825	3,419	3,065	2,769	2,531
							2,404



中山町

(単位：人)

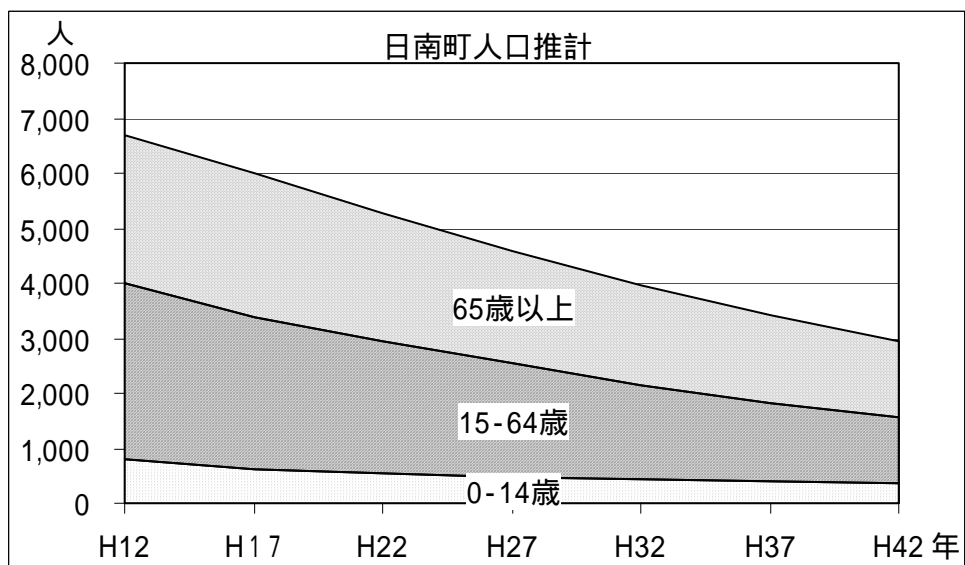
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	5,233	4,860	4,460	4,060	3,672	3,308	2,942
0-14 歳	701	558	472	413	363	321	277
15-64 歳	3,045	2,803	2,526	2,156	1,827	1,572	1,400
							1,265



日南町

(単位：人)

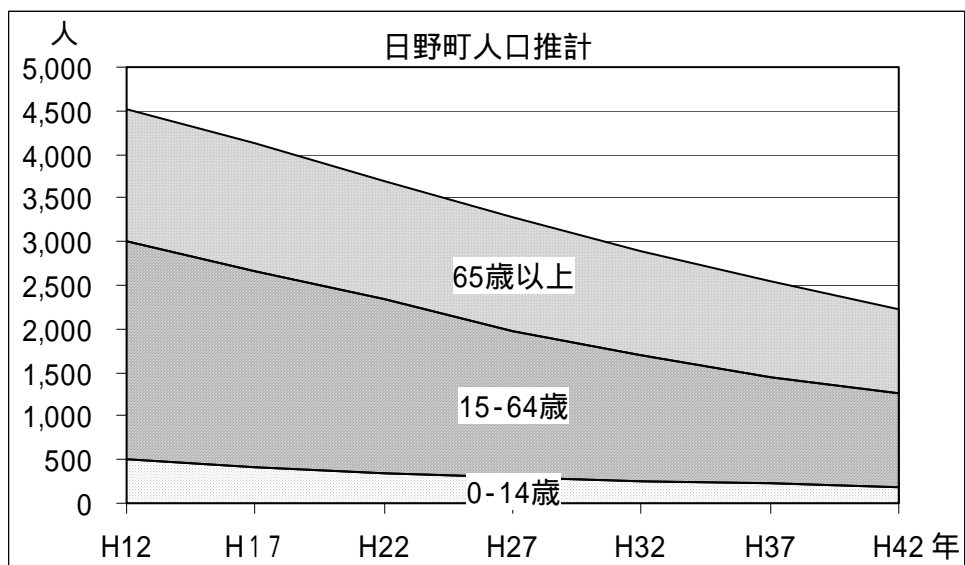
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	6,696	5,985	5,272	4,588	3,955	3,405	2,944
0-14 歳	789	631	529	485	434	396	362
15-64 歳	3,216	2,740	2,425	2,053	1,711	1,406	1,213
							1,368



日野町

(単位：人)

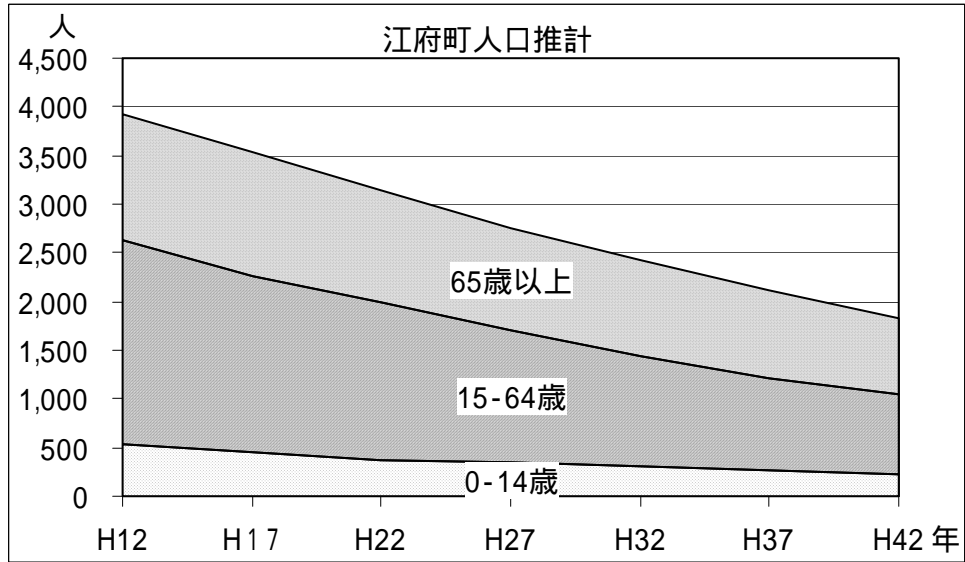
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	4,516	4,118	3,695	3,277	2,900	2,549	2,220
0-14 歳	503	422	351	298	258	221	187
15-64 歳	2,506	2,240	1,991	1,681	1,435	1,229	1,065
							969



江府町

(単位：人)

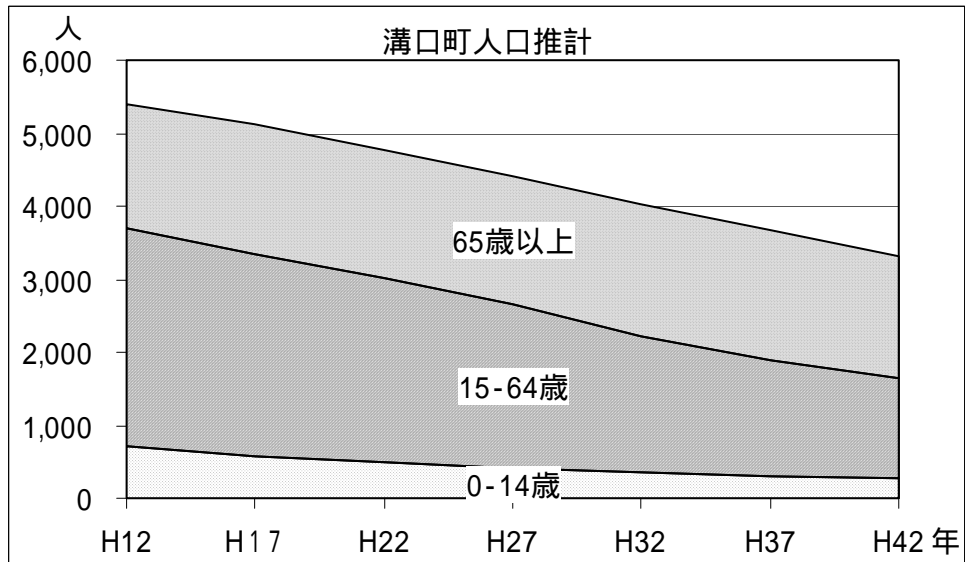
区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	3,921	3,531	3,139	2,759	2,417	2,114	1,838
0-14 歳	529	448	373	341	298	259	226
15-64 歳	2,100	1,808	1,613	1,373	1,139	955	819
							794



溝口町

(単位：人)

区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
全人口	5,392	5,119	4,780	4,411	4,032	3,666	3,311
0-14 歳	705	567	485	415	353	311	277
15-64 歳	2,990	2,788	2,541	2,236	1,875	1,574	1,373
							1,660



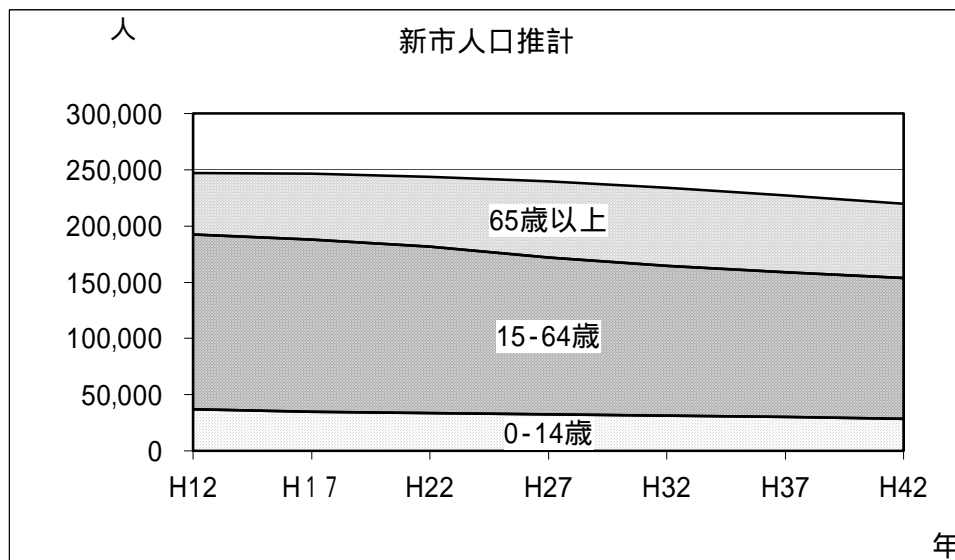
第3節 新市の将来人口

総人口は、既に減少し始め、年少人口(0-14歳)、生産年齢人口(15-64歳)も同じく減少しているが、老年人口(65歳以上)については、平成32年まで増加し続け、少子・高齢化が一段と進行することが推測される。

新市

(単位:人)

区分	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
全人口	247,218	246,401	243,789	239,487	233,943	227,384	219,746
0-14歳	36,987	34,966	33,676	32,450	31,499	30,174	28,507
15-64歳	155,678	152,754	147,955	139,423	133,010	128,728	125,374
65歳以上	54,552	58,681	62,158	67,614	69,434	68,482	65,865



西部14市町村が合併すると仮定した場合の合併時期を合併特例法の失効期限である平成16年度末に設定し、平成17年の人口推計値(246,401人)の端数処理を行った246,000人を新市の人口として、財政推計等を行う際の基礎数値に使用する。